

事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 ナンディ・ラウトカ地区における給水サービス強化事業
実施期間	2018年1月～2021年1月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>2017年7月に完了した草の根技術協力事業の成果を踏まえ、ナンディ・ラウトカ地区における更なる給水サービスの強化を図るため、新たな事業として、水道利用者の節水意識の向上に向けた活動強化やフィジー上下水道公社職員の「水の有効利用（配水調整、漏水防止等）」に関する能力の強化に取り組むことで、対象地区で24時間常に水が供給されるよう支援するもの。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市職員派遣（3回程度/年） ・カウンターパート職員受入（1回/年） ・水道用資機材供与 <p>平成30年度は出水不良エリア改善に向けて、現地職員とともにナンディ地区における現地調査（送・配水管の流量、配水池の水位測定等）を実施するとともに、水道利用者の節水意識向上を図るため、水使用の実態調査を行い、節水に関する広報活動を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA個別専門家 ヤンゴン市 水道行政・水供給アドバイザー
実施期間	2018年12月～2020年12月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市は、約560万人を抱えるミャンマー最大の都市であるが、今後の経済発展及び人口増加に伴い、増加する水需要のための上水道整備が喫緊の課題となっている。</p> <p>このため、政策提言、助言を行う専門家の派遣による支援要請がミャンマー政府から我が国になされ、これを受けたJICAからの依頼に基づき本市職員をヤンゴン市に派遣、水道行政に関する助言及び送配水管網の整備・更新に取り組むもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>1. 送配水管網の整備・更新</p> <p>1) 送配水管網の現状分析や課題整理。</p> <p>2) 送配水管網の整備・更新計画の策定や設計・施工・施工管理に関する助言・提言。</p> <p>3) 送配水管網の適正な維持管理が実施されるよう助言・提言。</p> <p>4) 水ビジョンの実現及び水道分野にかかる開発方針・計画の実施。</p> <p>2. 水道行政</p> <p>1) ヤンゴン市の水道事業に関わる国・州・市レベルの政策・計画の現状分析及び課題把握</p> <p>2) 国・州・市レベルの政策・計画・体制の改善に向けた提案</p> <p>3) 関係省庁・行政組織に対する助言・支援</p> <p>4) 将来の日本の協力案件の発掘・実施促進のための支援</p> <p>5) 水道事業にかかる中央省庁や他都市への知見共有及び助言・提言</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）
実施期間	2018年7月25日～8月22日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的 開発途上国においては上水道に関する技術者の不足から漏水量の割合が高い状況にあるため、JICA課題別研修員として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得することで、各国の給水環境の改善に資するとともに、活動を通じた水道局職員の人材育成、水道技術力の維持向上を図るもの。</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業，漏水防止，配水管整備・維持管理，メータ管理など ・視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など ・アクションプラン作成支援

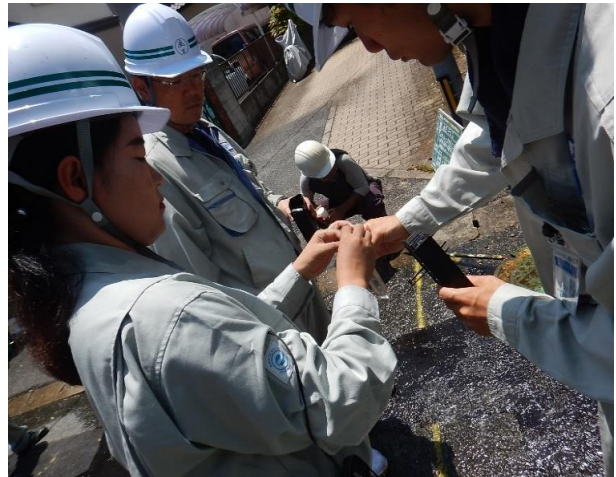
対象（相手）国・機関名	ミャンマー(1名), フィジー(1名), ネパール(1名), タンザニア(1名)
-------------	------------------------------------------



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	一般財団法人自治体国際化協会 自治体職員協力交流事業
実施期間	2018年6月～11月
主催機関	一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>CLAIRの「自治体職員協力交流事業」を活用し、ヤンゴン市職員を本市に「協力交流研修員」として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得させるとともに、ヤンゴン市職員の人材育成を通じたヤンゴン市水道の運営・維持管理の改善および本市とヤンゴン市とのさらなる信頼関係の構築を図るもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>研修において、以下のプログラムを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業全般、下水道事業全般 など ・視察：ダム、取水場、浄水場、配水施設、配水管布設現場 など ・実習：浄水場やポンプ施設の運転・維持管理実習、水質管理実習、本市水道局研修施設における給水管接合演習 など ・アクションプラン作成支援 <p>2018年度は、ヤンゴン市の水道技術者2名を受け入れ、研修を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、(株)TECI、東京水道サービス(株)、(株)PUC、福岡市水道局、東京都水道局
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市では、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが技術協カプロジェクトを実施している。福岡市水道局は、東京都水道局とともに、国内支援委員として本プロジェクトに参画し、水道事業体として技術的な助言等を行うもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>福岡市水道局は、東京都水道局と共同で、現地セミナーや訪日研修を実施。平成30年度は、国内でのTV会議に参加し、技術的な助言等を実施。</p>

対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会
-------------	-----------------------

